学校番号	1009

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デッサンの基礎から発展までを主な授業内容とし、描く対象物は静物(ビン・レンガ・果物・野菜など)、人物、石膏像など多様なモチーフを描きます。モダンテクニックなど、独自の表現方法についても学びます。

2　学習の到達目標

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。
(2) 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりることができるようにする。
(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	鉛筆デッサンの基礎	【絵画】 ・鉛筆デッサンの基礎について ・制作 デッサンを学び、基本的な形の明暗を描き分け、奥行き、立体感を表現する	a：基本的なデッサンを理解し、形や奥行きや立体感を表現できている。 b：モチーフ静物の素材や形を理解し、鉛筆でそれぞれの特徴を描き分けるよう工夫して表現している。 c：モチーフをよく観察し、その特徴を主体的に表現している。	作品	制作途中の作品 作品	制作の様子 ワークシート
	人物デッサン	【絵画】【鑑賞】 ・鉛筆デッサンの基礎について ・制作 デッサンを学び、基本的な形の明暗を描き分け、奥行き、立体感を表現する	a：基本的なデッサンを理解し、人物の形や奥行きや立体感を表現できている。 b：顔のパーツや骨格や形などを理解し、鉛筆でそれぞれの特徴を描き分けるよう工夫して表現している。 c：人物をよく観察し、その特徴を主体的に表現している。	作品	制作途中の作品 作品	制作の様子 ワークシート
2学期	石ころそっくりアート	【絵画】【彫刻】【鑑賞】 ・石に和紙を張り合わせ、石を抜き出し、和紙に彩色し、そっくりの和紙の石を表現する。	a：素材や画材の特徴を生かし奥行きや立体感を表現できている。 b：素材や形を理解し、それぞれの特徴を描き分けるよう工夫して表現している。 c：モチーフをよく観察し、その特徴を主体的に表現している。	作品	制作途中の作品 作品	制作の様子 ワークシート
	らくがきからアート	【絵画】【デザイン】【鑑賞】 ・模様やキャラクター・文字などのらくがきで画面を埋め尽くし描く。	a：題材を理解し表現できている。 b:ペンでそれぞれの特徴を描き分けるよう工夫して表現している。 c：描くという行為に主体的に取り組んでいる。	作品	制作途中の作品 作品	制作の様子 ワークシート

3学期	モダンテクニックアート	【絵画】【デザイン】【鑑賞】 ・様々なモダンテクニックについて学ぶ。 ・制作 創意工夫しながら様々な画材を使用し、自分独自の表現を目指していく。	a: モダンテクニックについて理解し、様々な表現方法で描いている。 b: 創意工夫しながら独自の技法で表現している。 c: 主体的に制作している。	作品	制作途中の作品 作品	制作の様子 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度